

秋の風景を描いてみよう!

秋に行われるイベントや旅行へはがきや絵の具を持って行ってちょっとかっこいいですね。

今回のレターレシピは、絵手紙により秋の風景やイベントを描くポイントをご紹介します。

【基本編】絵手紙の描き方

絵手紙はすべて「思いやりの心」

はがき絵手紙の表書きに

「思いやりの心」を

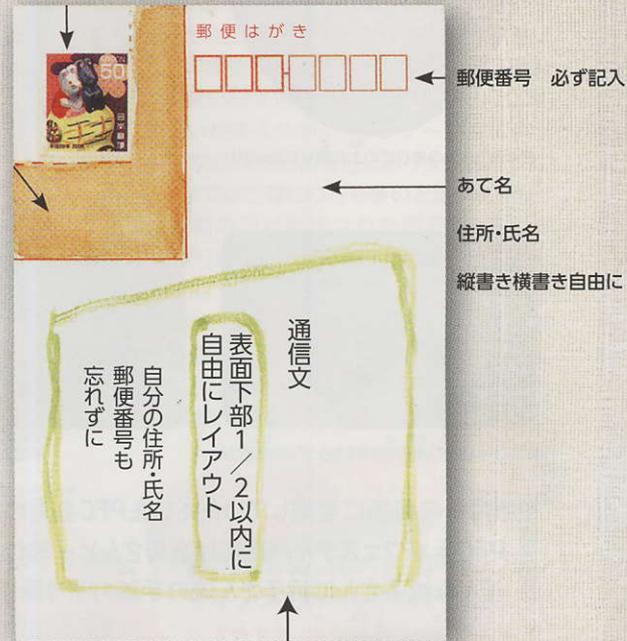
「はがき」の表書きで、まず大事なことは、受取人の郵便番号・住所・氏名をはっきり、しっかり記入することです。これは相手の方に対する礼儀ですね。

次に、通信文を書く場所には絵手紙の言葉の他に伝えたいことなどを書きます。

絵手紙は「技法よりも思いやりの心を優先する」という気持ちで。この事例の場合も、心がけ(1)のように絵手紙を大切に届けてくれる郵便局の人々、そして受け取った相手が困らないような、「思いやりの心」で書いてほしいと思います。

右図で「はがき」の表書きの注意点を示しました。

どんな切手を貼るか工夫を



心がけ(1)

この箇所は郵便局で消印を押すところ。ここに文章や住所を書くと、消印の黒インクで読めなくなり、番地不明などで返信できないことが多々あります。

心がけ(2)

表の通信文も絵手紙の一部です。心を込めて、想い・生活などを具体的に書きましょう。

お月見の絵手紙

鉛筆、サインペンで静けさを
夜空の雰囲気に注意して彩色

- ◎行事の内容や季節の感動を絵手紙にして伝えたい、そんな気持ちで、お月見を描きました。
- ◎お月見を表現するには静けさ、優しさがほしいので、筆記用具は鉛筆、サインペンにしました。用紙は考えて洋紙を選びました。
- ◎モチーフは秋の七草と一服のお茶です。形は、本物そっくりでなくてもかまいません。幸福な一時を優しく描きました。
- ◎彩色も十人十色でよいのですから…。注意したことは夜空の雰囲気です。あまり暗くなくても月夜は青が似合います。
- ◎文章は抽象的、独り善がりにならないよう、思いやりの心を込めて書きました。

